暮らしによりそうアロマセラピー

りんせん通信

12
2023

発行：アロマセラピールーム林泉 http://rinsen-aroma.com

2023年12月7日発行（通巻第154号）

～香りと一緒におうち時間（14）～

クリスマスの香りがお部屋にふわり。オレンジポマンダーを手作りしましょう。

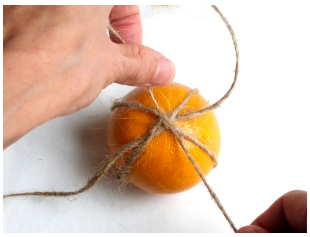
フレッシュな柑橘とスパイスで作る匂い玉

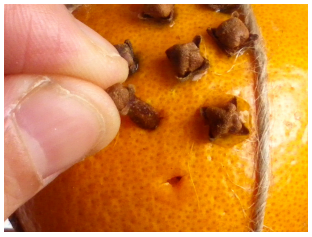
オレンジポマンダーとは、オレンジの実に、クローブを刺して作る匂い玉です。ハーブの本を読むと、ヨーロッパではクリスマスに贈る習慣があると書いてありました。中世では厄除けに使われたそうで、私も来年のしあわせを願い、作ってみることにします。

主役はオレンジの甘い香り

主役は、もちろんオレンジです。柑橘類の芳香成分は、主に皮の部分に含まれます。

まずは、麻ヒモを十字にかけました。こうするとオーナメントとして使いやすいですし、吊るすことで、しっかり乾燥させられます。





クローブで、香りを引き出す

クローブを、オレンジの実に刺していきます。皮を傷つけることで、オレンジの香りを引き出します。

クローブには殺菌力があり、防腐剤としても働きます。歯医医院でクローブの香りがするのは、主成分のオイゲノールが薬として使われているからです。

シナモンも飾って、防腐性をアップする

てっぺんにシナモンスティックを飾ります。シナモンスティックは樹皮を乾燥させたものですが、実際にシナモンの木に近づくと、香りが漂ってくるそうです。

シナモンも防腐性が高く、古代エジプトでは、ミイラの材料として使われました。

自然の香りが、12月の緊張をやわらげる

完成後、部屋のすみに吊り下げました。近くを通ると、ふわりと甘い香りが漂い、師走の緊張感をなごませてくれます。オレンジとクローブの香りは、正反対の印象がありますが、不思議とよく調和します。よかったら、クリスマスに向けて作ってみてください。

年末年始休業のお知らせ

12/30（土）～1/3（水）

ご不便をおかけしますが、
よろしくお願い致します。

おすすめアロマグッズ No.122

カメリア・フェイシャル・ハイドレーティングクリーム（イソップ）

椿油やアロエなどが配合された保湿クリーム。超ドライ肌用とのことですが、塗り心地がサラッとしていて、冬はもちろん、3シーズン通して役立ちそうです。

つけた瞬間は柑橘の香りを感じますが、少し経つと、サンダルウッドの甘さが立ち上がってきます。ただ、まとわりつくような強さはありませんから、植物の穏やかさが好みの方も安心して使えるでしょう。

編集後記

今月号でご紹介したオレンジポマンダー、わたしは、毎年年末の声が聞こえると作り始めます。ところが実は、一度も成功したことがありません。理由はカビで、完成しても数日すると、傷んで変色してしまうのです。

そこで、今年は、殺菌力の高いクローブでオレンジ全体をびっしり覆い、作り終えたらすぐに吊るして、徹底的に風通しをよくしました。11月の末にできあがったのですが、今のところいい感じに仕上がっています。しばらく林泉の玄関に飾っておきますので、よかったらご覧ください。